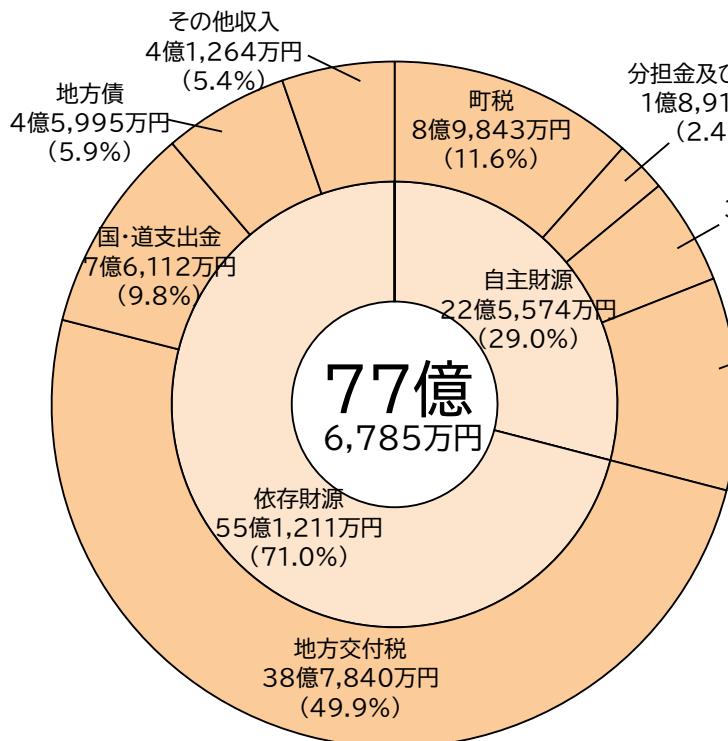


# 令和6年度 決算報告

令和6年度の一般会計と6つの特別会計、2つの企業会計の決算が第3回定例会において認定されました。

町のお金はどのくらい収入があり、どのように使われたのか、また、財政状況はどうなっているのか、一般会計を中心にお知らせします。



## 一般会計 歳入

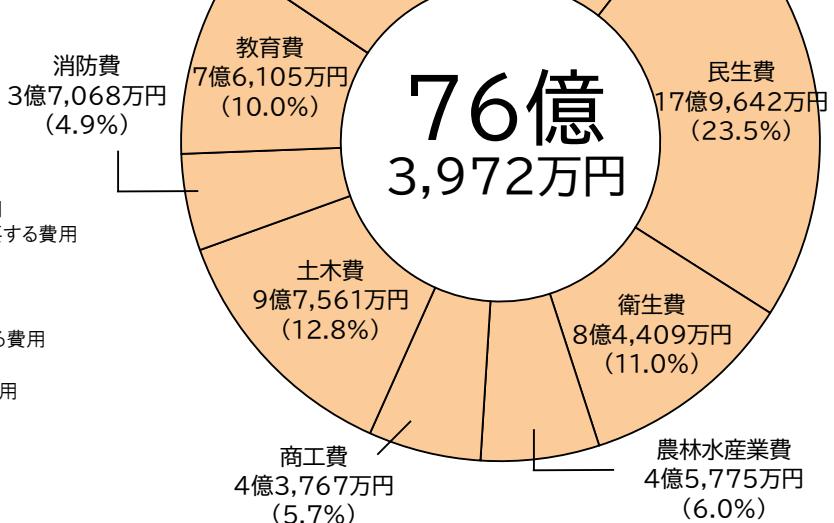
### 用語の解説

自主財源…町が自主的に収入できる財源  
依存財源…国や他の自治体から交付される財源  
町税…町に納める税金。町民税、固定資産税など  
分担金及び負担金…特定の事業に要する経費のためにその事業により利益を受ける人から徴収するお金  
繰入金…特別会計や基金など一般会計以外から繰り入れたお金  
その他収入(自主財源)…繰越金や寄附金、使用料・手数料など  
地方交付税…どの市町村でも一定の行政サービスを行えるよう国から交付されるお金  
国・道支出金…町が行う事業に対し国や道から交付されるお金  
地方債…世代間の負担の公平性を図るために国などから借りるお金  
その他収入(依存財源)…地方譲与税や地方消費税交付金など

## 一般会計 歳出

### 用語の解説

議会費 …議会活動に要する費用  
総務費 …総務管理、企画、交通安全、税務事務などに要する費用  
民生費 …高齢者や障がい者、児童の福祉サービスの提供などに要する費用  
衛生費 …ごみの処理や健康増進などに要する費用  
農林水産業費 …農業や林業、水産業の振興に要する費用  
商工費 …商工業や観光の振興などに要する費用  
土木費 …道路や橋りょうの整備、港湾管理、公営住宅などに要する費用  
消防費 …広域消防の負担金や消防団に要する費用  
教育費 …小中学校の管理運営や生涯学習の推進などに要する費用  
公債費 …町の借入金の返済に要する費用



歳入は前年度より3億3,982万円増加し、77億6,785万円となりました。町税が前年度と比較し、8,674万円減少した一方、地方交付税が3,419万円、地方債が1億2,776万円増加しました。

歳出では前年度より4億4,059万円増加し、76億3,972万円となりました。歳出全体の占める割合では民生費、公債費、土木費の順に大きくなっています。

歳入額から歳出額を差し引いた額は1億2,813万円となり、翌年度に繰り越す財源(3,003万円)を除いた実質収支額(黒字額)は9,810万円となりました。

**実質収支額(黒字額) 9,810万**

# 特別会計 公営企業会計

特別会計は一般会計と区別して、特定の歳入と歳出で経理を行う会計です。町には6つの特別会計があり、すべての会計で安定的に運営されています。

公営企業会計は収益が認められている会計であり、原則として独立採算制による運営が求められています。町には水道事業会計と下水道事業会計の2つの会計があり、資本的収支で不足額が生じていますが、留保資金などで補てんしています。

特別会計名	歳入額	歳出額	差引額
港湾管理特別会計	1億1,574万円	1億1,436万円	138万円
国民健康保険事業勘定特別会計	8億5,618万円	8億4,211万円	1,407万円
介護保険特別会計	6億8,071万円	6億5,271万円	2,800万円
介護サービス事業特別会計	10億343万円	10億201万円	142万円
後期高齢者医療特別会計	1億3,231万円	1億3,231万円	0円
病院事業債管理特別会計	4,595万円	4,595万円	0円

公営企業会計名	収入額	支出額	差引額
水道事業会計(収益的収支)	3億3,821万円	3億1,720万円	2,101万円
(資本的収支)	1,428万円	1億5,051万円	▲1億3,623万円
下水道事業会計(収益的収支)	3億9,565万円	3億1,407万円	8,158万円
(資本的収支)	1億4,658万円	3億1,543万円	▲1億6,885万円

※税込み

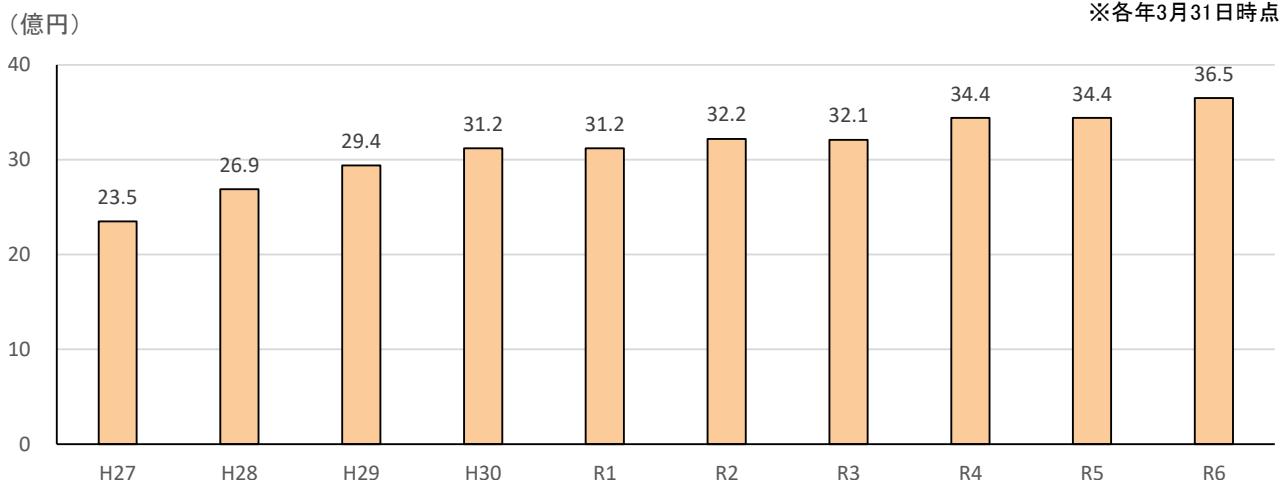
<用語の解説>

収益的収支 …事業活動に伴い発生が予定される全ての収益と費用

資本的収支 …将来の事業活動に備えて行う建設改良や建設改良に要した借金の償還金

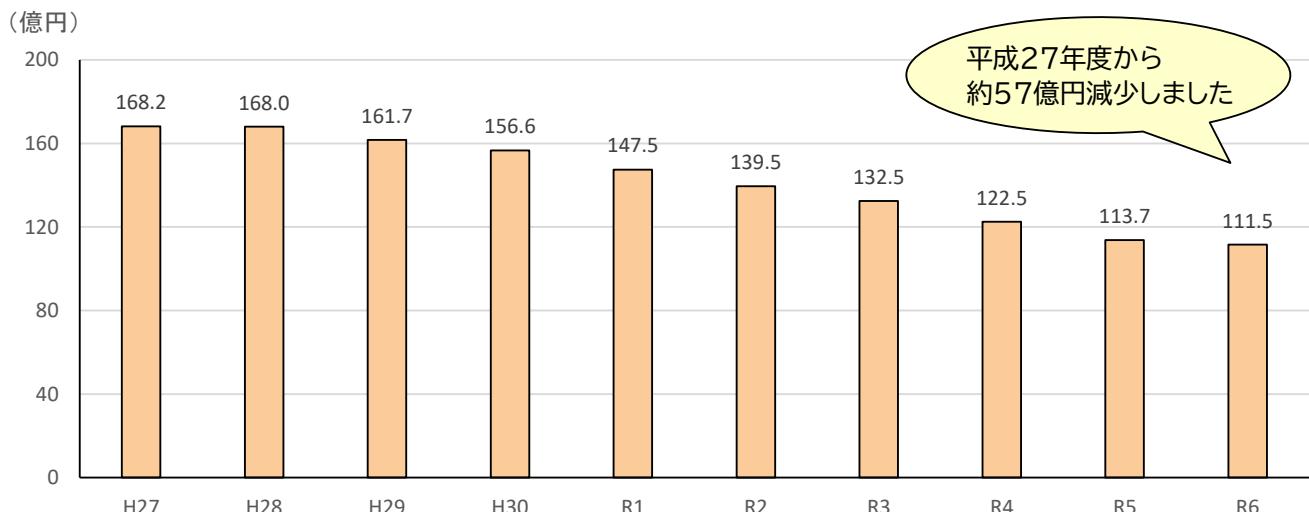
## 基金(貯金)残高

基金は法律や条例に基づいて設置するもので、広尾町では17種類の基金があります。臨時の出費や財源が不足する場合に取り崩します。  
令和7年3月31日時点の基金残高は令和6年3月31日時点から2.1億円増加し、36.5億円となっています。



## 町債(借金)残高

町債は公共施設の建設など、多くのお金を必要とする事業を実施するために借り入れるもので、世代間の負担を公平にする働きがあります。  
令和6年度末で前年度から2.2億円減少し、全会計の合計で111.5億円の残高となっています。



# ◎令和6年度に実施した主な事業◎

## 1 総務費

○ 子ども農山漁村交流事業	498万円
○ 生活交通路線確保対策事業	3,846万円
○ 結婚新生活支援事業	191万円
○ 奨学金返還支援事業	252万円
○ 町史編さん事業	55万円
○ 市街地区避難誘導標識等更新事業	554万円



## 2 民生費

○ 福祉灯油助成事業	189万円
○ 高齢者外出支援交通費助成事業	974万円
○ デイサービスセンターエアコン設置事業	1,867万円
○ 乳幼児及び児童医療対策事業	2,017万円
○ 敬老祝金支給事業	319万円
○ 保育料無償化事業	273万円
○ 豊似保育所エアコン設置事業	385万円
○ 放課後児童クラブエアコン設置事業	233万円
○ 出産祝い金支給事業	260万円
○ 在宅育児支援金支給事業	96万円



## 3 衛生費

○ 水道基本料金減免事業	776万円
○ 電動生ごみ処理機購入補助事業	72万円
○ 妊産婦健診等通院費助成事業	102万円
○ 不妊治療費等助成事業	127万円



## 4 農林水産業費

○ 新規就農者育成支援事業	370万円
○ 有害鳥獣駆除事業	1,241万円
○ ウニ増殖対策事業	650万円
○ 秋さけ定置漁業緊急支援対策事業	1,347万円



## 5 商工費

○ 住宅新築・リフォーム等支援事業奨励金交付事業	417万円
○ 十勝港まつり協賛会負担金	1,257万円
○ サンタランド認定40周年記念事業	182万円
○ ひろお生活応援クーポン券発行事業	3,052万円



## 6 土木費

○ 10丁目通道路改良舗装工事	3,449万円
○ 西広尾橋補修工事	4,266万円
○ 十勝港防げん材改修工事	3,984万円



## 7 消防費

○ 老朽化防火水槽更新事業	770万円
○ 水槽付消防ポンプ自動車購入事業	5,588万円



## 8 教育費

○ 広尾高校生徒遠距離通学費助成事業	287万円
○ 小・中学校エアコン設置事業	1億4,221万円
○ 小・中学校修学旅行費助成事業	193万円
○ コミュニティ・スクール推進事業	625万円
○ 学校給食費無償化事業	1,728万円



## 9 介護サービス事業特別会計

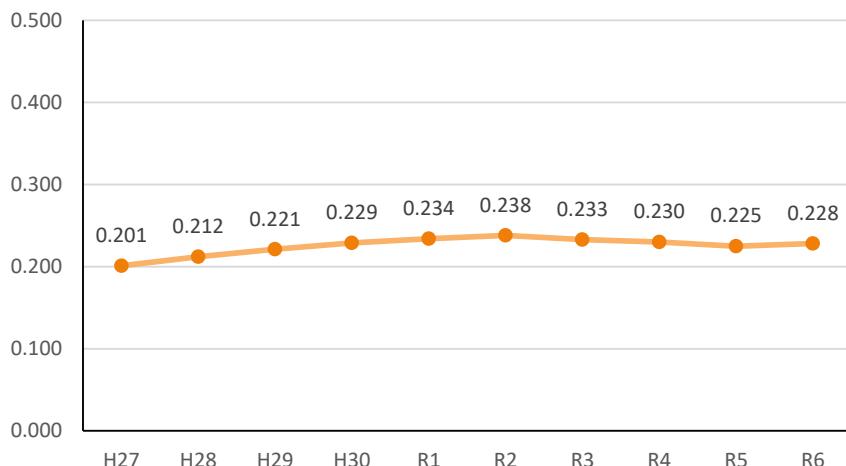
○ 特別養護老人ホーム建替事業	7億6,498万円（一部令和7年度に繰越）
-----------------	-----------------------

# 指標から見た町の財政状況

令和6年度  
財政力指数 **0.228**

地方公共団体の財政力を示すもので、地方交付税や補助金に依存せず自力で財源調達できる割合をいいます。  
「1.000」に近いほど財政力に余裕があることを表しています。

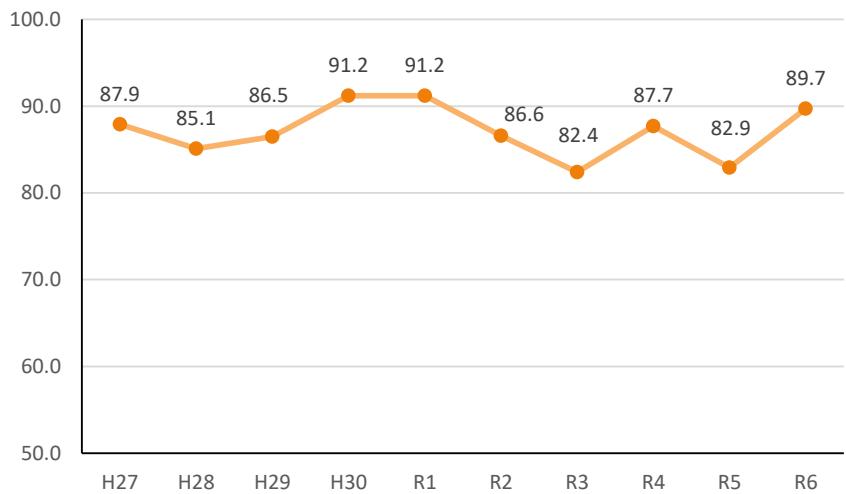
最新の公表値である令和5年度の全道平均は0.474で、町村平均は0.256となっており、この数値と比べると広尾町は町村平均をやや下回っている状況です。



令和6年度  
経常収支比率 **89.7%**

100円の安定収入に対し、89.7円は固定経費として支出している状況を表しています。  
一般的には、75%以下が妥当と考えられています。

最新の公表値である令和5年度の全道平均は91.6%で、町村平均は85.6%となっており、この数値と比べると広尾町は町村平均をやや上回っている状況です。



令和6年度  
実質公債費比率 **12.7%**

借金の返済による財政負担の大きさを示す指標です。18%を超えると地方債の借入に国の許可が必要となり、25%を超えると借入が制限されます。

最新の公表値である令和5年度の全道平均は7.1%で、町村平均は9.2%となっており、この数値と比べると広尾町は町村平均を上回っている状況です。

